



IMAGINE MORE

株式会社デジタルガレージ

2015年6月期 第3四半期決算サマリー

2015.5.13

 **Digital Garage**

2015.6期 第3四半期累計経常利益は、前年同期比75%増の43億円と過去最高益を更新

～ 全事業セグメントとも増収増益を確保。次期3カ年に向け、新規事業の取組みも着々と進行 ～

I インキュベーション：グローバルな投資エコシステムを推進

- 積極的なグローバル投資を継続し、投資残高は100億円まで拡大。投資先のExitも好調
- 資本業務提携先のBetaworks社と連携し、米国の有力ネットサービスの日本展開を準備開始
- コンテンツのグローバル展開や新規ビジネスの投資育成で講談社と資本業務提携

II マーケティング：パフォーマンスアドの好調続き、収益性も向上

- 前年同期比10%増収、営業利益31%増益を達成、当期3Q営業利益率は7.9%まで向上
- 広告ROI全体を重視した、パフォーマンスアドが引続き高い成長を維持
- 訪日外国人向けアプリの海外プロモーションを展開、ネット広告のクロスボーダー体制構築へ

III ペイメント：econtext Asia社の完全子会社化(以下SOA)承認、決済事業も順調に推移

- 香港連結子会社econtext Asia社の外部株主が保有する全株式を取得し、完全子会社化を予定
- 国内は、Eコマース市場の拡大を受け、コンビニ決済とカード決済が順調に推移
- 楽天やリクルート、LINEなど、大量の会員数を誇る大手プロバイダーと提携、決済サービス拡充

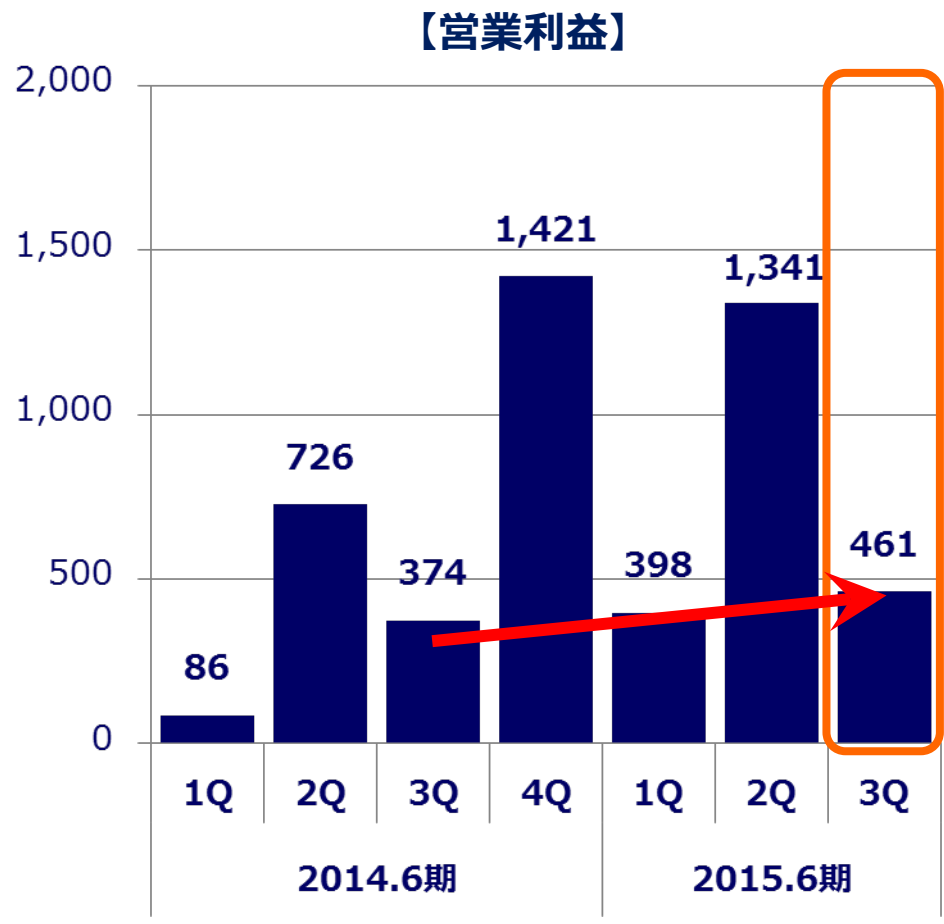
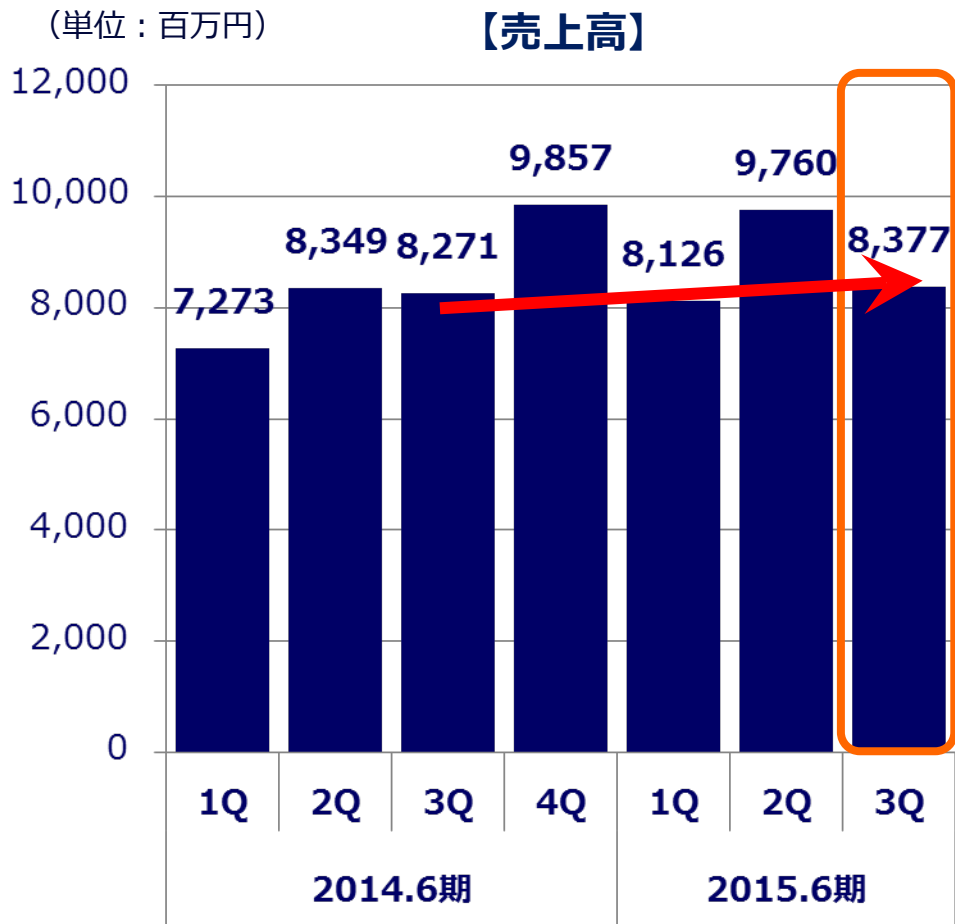
売上高は前年同期比9.9%増収、経常利益は同75%増の43億円を達成
 ~ 全事業セグメントとも増収増益を確保 ~

単位：百万円	2014.6期	2015.6期	前年同期比		2015.6期	
	3Q (累計実績)	3Q (累計実績)	(比率%)	(金額)	(業績予想)	3Q(累計)進捗率
売上高	23,894	26,264	+9.9	+2,370	40,000	66%
インキュベーション	3,149	3,720	+18.1	+571	7,500	50%
マーケティング	10,637	11,784	+10.8	+1,147	17,000	69%
ペイメント	10,107	10,758	+6.4	+651	15,500	69%
営業利益	1,186	2,201	+85.5	+1,014	4,500	49%
インキュベーション	423	1,130	2.7 倍	+707	3,600	31%
マーケティング	644	843	+31.0	+199	1,100	77%
ペイメント	878	987	+12.4	+108	1,450	68%
営業外収益	1,705	2,627	+54.1	+922		
持分法投資利益	1,229	1,522	+23.9	+293		
為替差益	208	689	3.3 倍	+481		
営業外費用	393	435	+10.6	+41		
経常利益	2,498	4,393	+75.9	+1,895	6,700	66%
特別利益	500	2,369	4.7 倍	+1,869		
持分変動利益	374	2,301	6.1 倍	+1,926		
税引前当期純利益	2,972	6,667	2.2 倍	+3,695		
法人税等	962	2,275	2.4 倍	+1,313		
当期純利益	1,873	4,079	2.2 倍	+2,206	5,200	78%
EBITDA	4,134	8,016	+93.9	+3,882	11,000	73%

Note: EBITDAは、税引前当期純利益に支払利息、減価償却費及びのれん償却費を加算し、算出。セグメント営業利益は、セグメント間取引消去及び全社費用控除前

(単位: 百万円)	2014.6期末	2015.6期 3Q末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	45,455	58,568	+13,113	
現預金	24,294	31,317	+7,022	株式売却による収入等
未収入金	8,596	11,112	+2,515	決済事業関連科目
金銭の信託	889	3,269	+2,380	決済事業関連科目
営業投資有価証券	8,063	8,734	+670	新規投資、投資先上場に伴う時価評価等
固定資産	25,554	29,406	+3,852	
投資有価証券	10,644	13,990	+3,346	持分法投資利益の取込み、投資先株式の時価評価等
投資不動産	3,619	4,231	+612	
のれん	7,354	6,991	-362	
資産合計	71,009	87,975	+16,965	
流動負債	25,461	34,884	+9,422	
預り金	16,434	20,744	+4,310	決済事業関連科目
短期借入金	3,690	9,046	+5,355	長期借入金からの振替
繰延税金負債	1,264	1,314	+50	時価のある有価証券の含み益に係る税金見込額
固定負債	9,058	9,986	+927	
長期借入金	8,841	8,901	+60	1年内返済予定の長期借入金への振替、運転資金需要
負債合計	34,519	44,870	+10,350	
純資産	36,489	43,104	+6,614	
株主資本	27,762	31,507	+3,744	
利益剰余金	9,615	13,436	+3,820	
その他の包括利益累計額	2,679	5,074	+2,394	
有価証券評価差額金	2,193	3,755	+1,561	時価のある有価証券の税引後含み益
少数株主持分	5,906	6,336	+429	
負債・純資産合計	71,009	87,975	+16,965	

2015.6期3Q(1-3)は、売上高83億円、営業利益は予算を上回る増益を達成
 ～ 第3四半期累計営業利益は、過去最高益を更新 ～





「インキュベーション セグメント」の四半期別推移

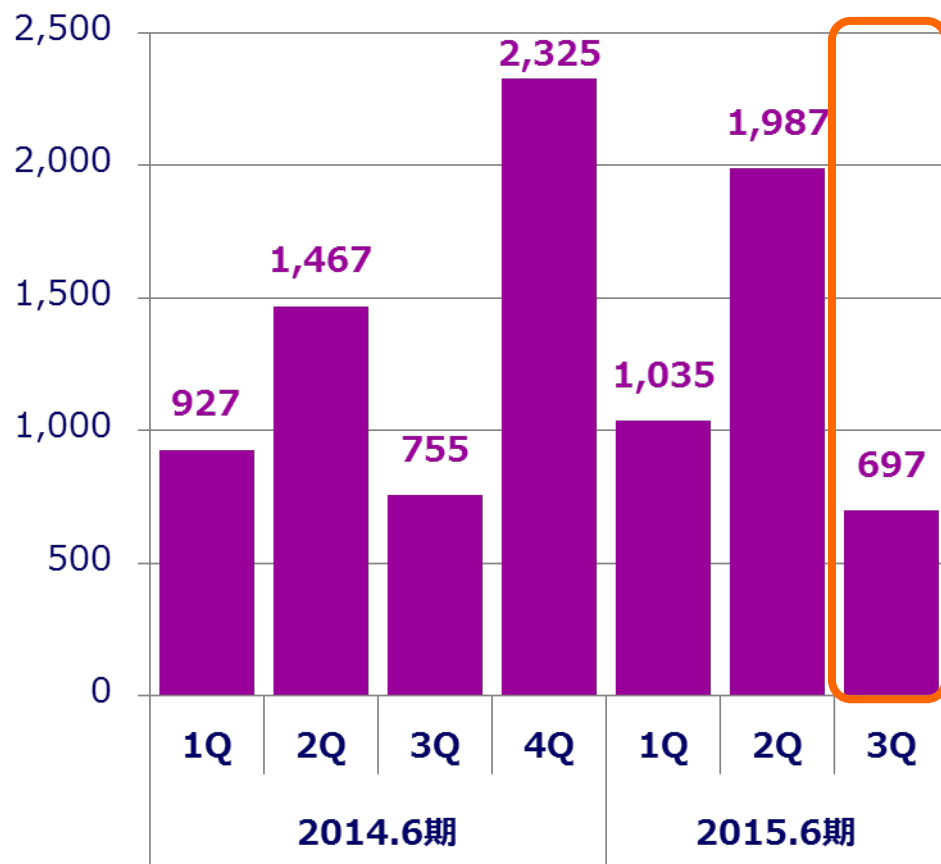


context company

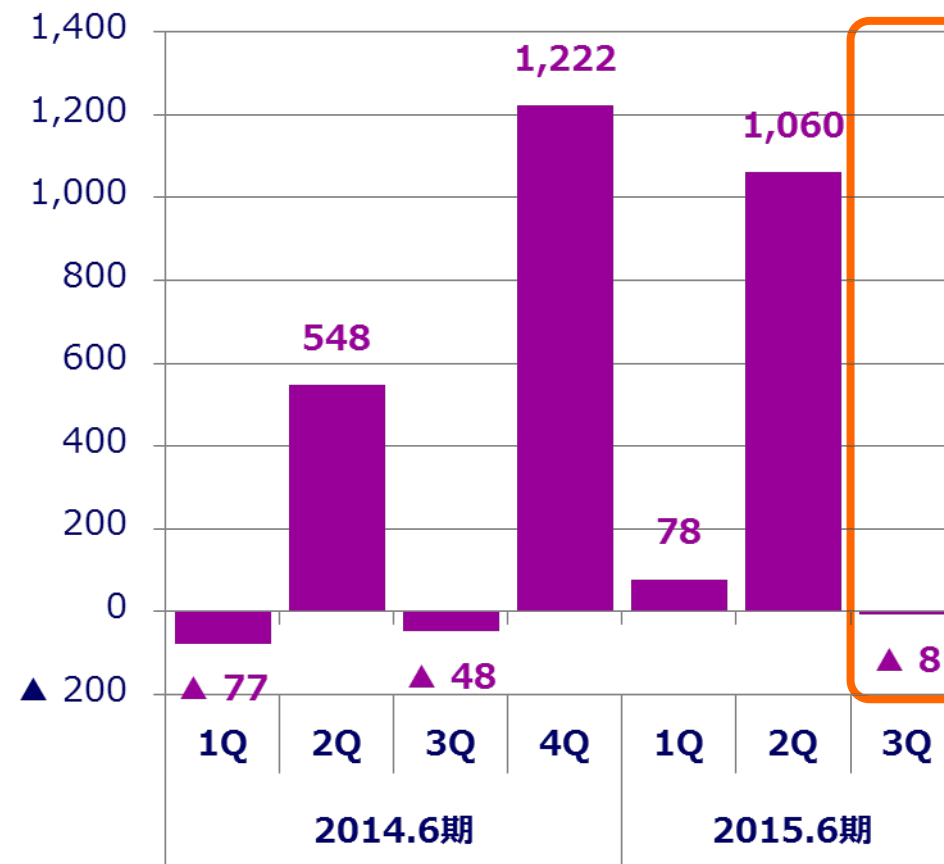
売上高、営業利益ともに予算を上回る進捗、投資残高は100億円まで拡大
 ～ Betaworks社と連携し、米国の有力ネットサービスの日本展開を準備開始 ～

(単位：百万円)

【売上高】



【営業利益】





「マーケティング セグメント」の四半期別推移



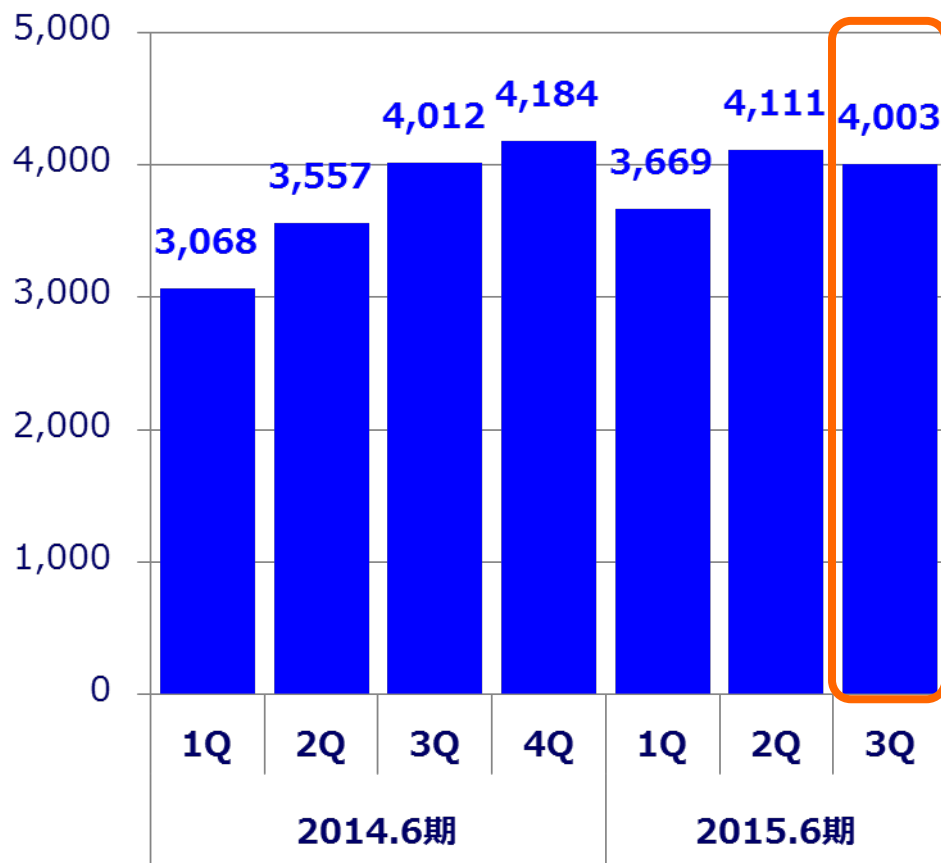
context company

広告ROI全体を重視した、パフォーマンスアドが増益を牽引

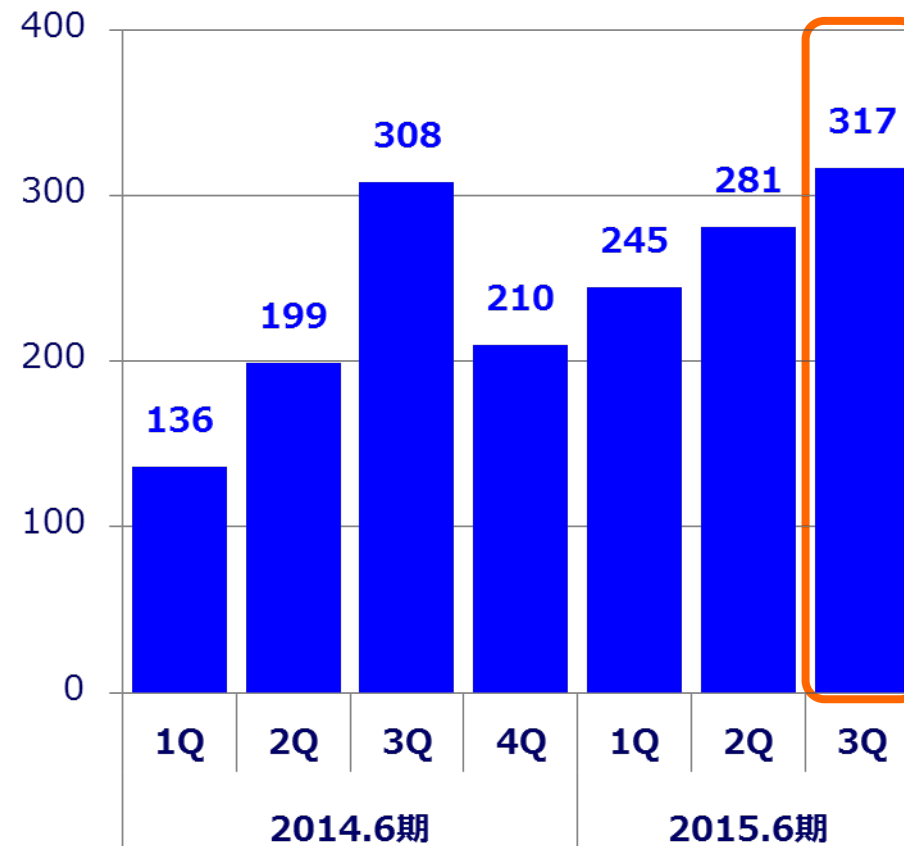
～ 前期4Qをボトムに3四半期連続で収益性向上、当期3Q営業利益率は7.9%を記録 ～

(単位：百万円)

【売上高】



【営業利益】





「ペイメント セグメント」の四半期別推移



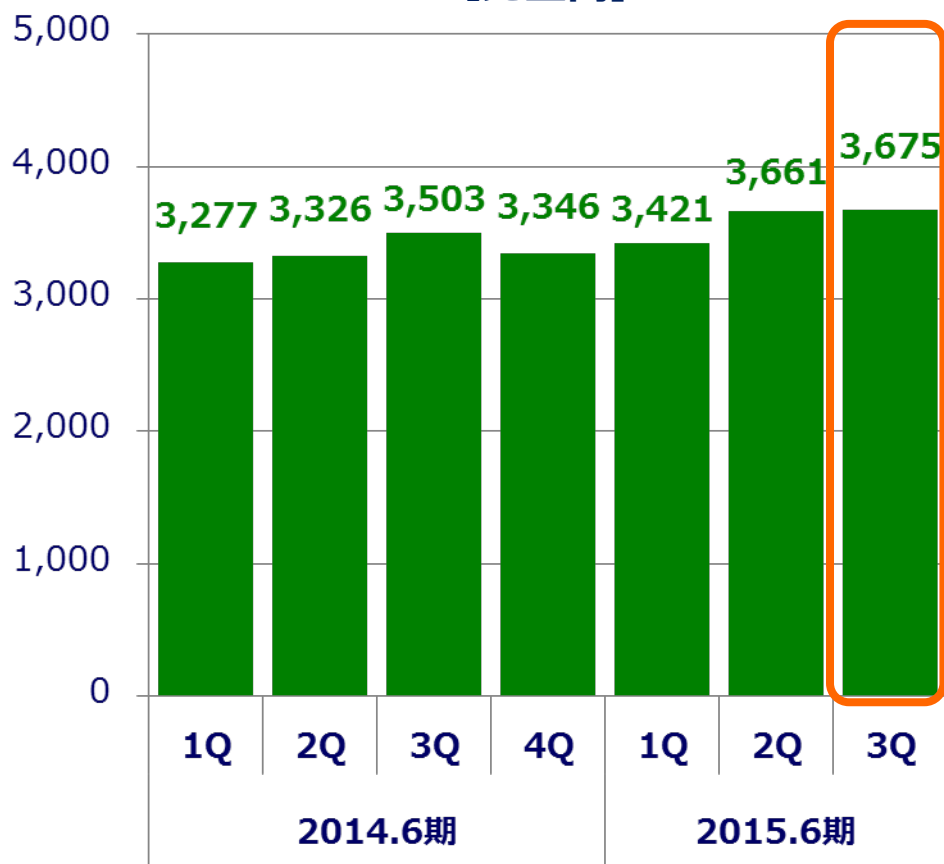
context company

国内Eコマース市場の拡大を受け、コンビニ決済とカード決済が順調に推移

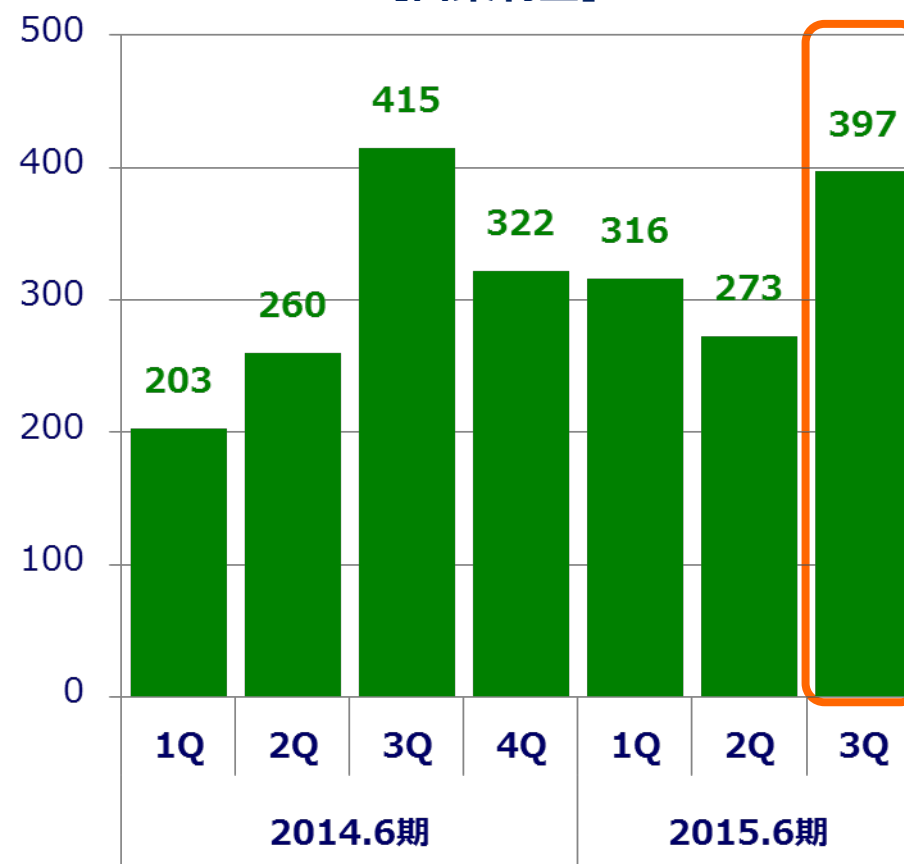
～ econtext Asia社の株式取得に係るSOAが承認、関連コストを計上～

(単位：百万円)

【売上高】



【営業利益】



株式取得の背景と目的

外部環境の変化

アジアEコマース市場の急成長
(投資, 買収候補のバリエーション高騰)

急激な円安進行で香港ドル建て
開示による事業実態との乖離

香港上場規制に基づく各種規制に
より、機動的な実行が困難

完全子会社化のメリット

グループ財務力を活かした
資金調達と投資力の強化

グループ内連携の強化,
迅速な意思決定

連結ROEの向上と
株主還元の積極化

- アジア地域の投資・買収戦略を再構築し、迅速な意思決定を行う必要があると判断
- econtext Asia社の外部株主が保有する全株式（41.5%）を取得し、完全子会社化へ

econtext Asia社の概要

社名	econtext Asia Limited
所在地	中国 香港
事業内容	アジア地域における決済サービス及びEコマース関連事業
大株主及び議決権比率	株式会社デジタルガレージ, 58.5%
上場先	香港証券取引所 (証券コード1390)

本株式取得に関する現在の状況及び今後の予定

4/23	econtext Asia社の裁判所集会及び同社の臨時株主総会にて本株式取得に係るスキームが承認
6/2 予定	スキーム成立に関する裁判所審理
6/3 予定	効力発生
6/4 予定	上場廃止 (香港現地時間 午前9時)

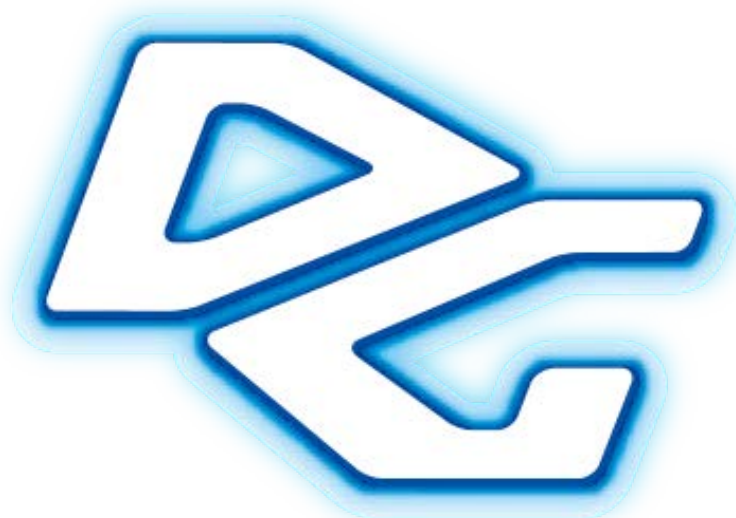
※ 2015.6期の当社連結決算において、第4四半期より100%連結予定

◆ 四半期セグメント推移 (連結)

単位：百万円	2014.6期				2015.6期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	7,273	8,349	8,271	9,857	8,126	9,760	8,377
インキュベーション	927	1,467	755	2,325	1,035	1,987	697
マーケティング	3,068	3,557	4,012	4,184	3,669	4,111	4,003
ペイメント	3,277	3,326	3,503	3,346	3,421	3,661	3,675
営業利益	86	726	374	1,421	398	1,341	461
インキュベーション	△ 77	548	△ 48	1,222	78	1,060	△ 8
マーケティング	136	199	308	210	245	281	317
ペイメント	203	260	415	322	316	273	397
経常利益	473	1,214	810	1,944	1,173	2,290	929
当期純利益	389	1,037	446	974	780	2,726	571
EBITDA	970	1,956	1,207	2,473	1,618	4,961	1,437
のれん償却費	191	204	170	191	171	217	182

Note: セグメント営業利益は、消去又は全社費用控除前ベース。EBITDAは、税引前当期純利益に支払利息、減価償却費及びのれん償却費を加算し算出

リリース日		リリース内容
2015年5月12日	 Digital Garage	デジタルガレージとジー・プランが協業し、ポイント交換ソリューション「ポイント・コンセント」を提供開始
2015年5月11日	 veritrans	ベリトランス、スマートフォン決済サービス「VeriTrans mPOS」をICカード国際規格「EMV」およびNFCに対応
2015年5月7日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、ウェブサイト解析サービス提供の米Chartbeat社に出資 メディアサイトへの利用促進を通じて日本展開の支援を強化
2015年5月1日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、金融機関向け個人資産管理ツール大手の米MXへ出資 銀行などへの利用促進を通じて日本展開を支援へ
2015年4月24日	 NaviPlus	ナビプラス、賃貸物件情報サイト「LR賃貸」に、業界初となるエリア別の家賃分析表示機能を追加
2015年4月22日	 DG INCUBATION	デジタルガレージ、モバイルアプリ解析ツールのReproに出資 リードインベスターとして海外展開を全面支援へ
2015年4月17日	 Digital Garage	デジタルガレージとカスタマー・コミュニケーションズが協業 市場における店頭販売情報を提供する新会員サービス「ウレコン」を開始
2015年4月2日	 Open Network Lab	Open Network Lab、起業家育成プログラムの内容を拡充 参加チームへの提供資金を大幅増額すると共に支援体制を強化へ
2015年3月25日	 veritrans	「食べログ」とPOSレジサービス「ユビレジ」、店舗向けサービスで業務提携
2015年3月5日	 veritrans	ベリトランス、MasterCardと業務提携 業界初「MasterPass」を自社決済サービスに追加
2015年2月26日	 Digital Garage	デジタルガレージがプロモーションする訪日外国人向けWi-Fi接続アプリ「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」のダウンロード数が約1ヶ月で30万を突破
2015年2月23日	 econtext ASIA	イーコンテキストとベリトランス、LINEと業務提携、業界初「LINE Pay」の現金チャージからEC決済までをトータルでサポート
2015年2月19日	 Digital Garage	デジタルガレージと講談社、デジタルコンテンツ事業で合併会社設立 日本発コンテンツのグローバル展開や新規ビジネスの投資育成で協業へ
2015年2月19日	 veritrans	ベリトランス、リクルートと連携し、「リクルートかんたん支払い」を「VeriTrans3G」に追加



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。